

2025年度日本認知症ケア学会・認知症ケア賞 実践ケア賞

認知症フレンドリーラボ

【設立年月日】2022年3月

【授賞理由】

当該団体は、徳島市において令和4年度より精力的に活動を展開され、地域社会に多大な貢献をしてきました。

多様な職種や立場の方々との協働による「認知症の人が暮らしやすいまちづくりに向けたワークショップ」は、当事者・家族・支援者・地域住民の垣根を越えた活発な意見交換の場となり、地域課題の発見と解決に寄与する素晴らしい取り組みです。

これらの取り組みは、認知症ケア賞（実践ケア賞）の受賞に相応しいといえます。

【団体概要】

2023年3月に「認知症の人が暮らしやすいまちづくりに向けたワークショップ」を開催しました。そのワークショップの運営メンバーが集まり、認知症フレンドリーラボ（団体名は2024年に決定）を結成しました。2023年度に開催した「認知症の人にやさしい暮らしのアイデアを考えるワークショップ」で出たアイデアの実装やチームオレンジの運営の補助をしているほか、ワークショップの開催も継続して行っています。

メンバーは認知症地域支援推進員をはじめ、訪問看護師、一般企業の社員、個人事業主、認知症サポーター、大学生などです。

【事業活動】

- 2023年度アイデア発想ワークショップで出たアイデアのアイデアオーナーとして、実現に向けた活動を実施
抽出されたアイデアは、①交流・つながり、②教育、③チームオレンジ普及啓発、④早期発見、⑤当事者の生きがいつくり、⑥イベント開催
- チームオレンジの運営補助、後方支援
- チームオレンジのコンサルタント
- ワークショップの開催

【業績等】

当初の目的は「認知症の人にやさしいまちづくりワークショップ」の開催と運営でした。現在では、アイデア実装の過程で、各方面で活躍する多職種メンバーひとり一人が自分の得意なフィールドで活動することで、認知症への正しい理解をさまざまな分野に広げていくことを目標として活動しています。月に1度はミーティングを開催し、情報

交換をしています。また、認知症サポーターのステップアップ講座の講師やチームオレンジの後方支援をラボメンバーで行っています。

【活動内容等】

年に数回、認知症に関するワークショップを開催しています。ワークショップには認知症の方や学生など多様な人が参加しています。そのワークショップから導かれたアイデアの実現を目標とした活動を行っています。医療福祉職以外のメンバーも多いため、活動の幅が広がり、さまざまなフィールドへの認知症の普及啓発ができています。メンバーの自由になる時間を使い、チームオレンジの活動支援や個別の活動を行っています。認知症についての講座依頼などがあれば、メンバーで共有し、講座内で劇を行ったりしています。

2023年度開催のアイデア発想ワークショップで出たアイデアはほぼ実現できました。徳島市は認知症地域支援推進員の数が少なく、兼務で活動時間が取れない状況のため活動が十分できませんでした。ともに活動する仲間ができたことで、多岐にわたる活動ができるようになりました。また、チームオレンジの活動支援を行うことで、認知症の人がチームオレンジに参加しやすくなったり、チームオレンジの不安や負担感が減少しています。

今後の活動予定について、2025年度は認知症×防災ワークショップを開催予定です。認知症の人や家族、施設の人の不安を聞き、その解決策を導く過程で防災に関わる人の横のつながりを作ります。

また、チームオレンジ結成時のステップアップ講座の講師を中心にチームオレンジフェスタの開催支援に努め、チームオレンジの普及啓発を行うとともに、2023年度のアイデアの実装を継続して行ってまいります。